

瀛車とまちがへたるなり、
醫師の許に行き体重を計る増減なし。

辻占のおかし

於東京盲啞學校 平 岩 學 洋

諸君、私わ辻占と朧かしの關係について、一言お話し致したいと思ひます、一体わの辻占と云うものわ、何のためにできてゐるのでありましょーか、特に、南京豆の中にいれたり、又種々のおかしの中にいれてゐるものわ、いかなる目的を以て、製造したのでありましょーか、つまりは人を慰め樂ましめて、一の興を興えるためで有りましょーか。然らば、此の興味をそへたといふ者は、主として、誰のためにできたのでありましょーか、大人のためでありましょーか、又子供のためでありま

しよーか、或わ誰彼の別なく、只一つの習慣的に、入てゐるのでありましょーか、とにかく、これわ一つの研究問題であると思ひます。

先夫は夫として其のつぢうらには、いかなるものが書てゐるかと研究して見ますと、一つとして、碌な事わ書てないのであります、實に有害な物許りでありまして、子供にわ、聞かするもいましき事許りで、常に私わ、残念に思うて居るのであります。これは今少し注意して、風俗上社會上、少しも差支はない様な物を書て貰ひたいのである。よし夫迄、行かなくとも其辻占の意味わ、今まで通りとしても、言いまわしを上手にして貰ひたいである。

そこで、此辻うらが子供のために出来てゐると致しますれば、實に、驚嘆の至りである、危険千

萬な物である、子供の道徳上の問題に、影響することか頗る大でありましよう。幼年兒童わ、よしや、その辻裏を見た所が、意味も分らず、讀めもせぬ故、何とも思わぬかも知れぬが、然し子供とゆ一者は、其の辻裏に對して、疑を起して、書てある事柄は何であるか、と思ふ所からして、兄なり、姉なりに、聞とゆ一事は、自然である、私共折々見受もし、又聞かれた事もあるのであります其の時子供の間に對して、答えてやらぬとゆ一のわよくないのである、必ず満足なる答をしてやらねばならぬ、満足なる答をしてやるにわ、其の辻裏の意味次第で、能き方に、解釋して説明する事ができませすけれ共、思わしくない意味の者にかいてわ、甚だ困難するのである、是に至ると、如何にしてよきか、私は殆ど口を開く事が出来ないの

である、ありのまゝいえば、必ず悪いし、いはねば子供は益々疑の心を起しますから、何とかいふてやるのがよいと思ひます、此の時はやむを得ませぬから、辻裏の文句に反しても臨機の文句を拵らえていつてやるのがよいと思ひます、然し辻裏の文句が、子供にわかる時は、そのはかり事わうまくいかなの場合もありましよう、又比較的大きな子供が見ました時わ、或る者は分らぬかもしれませぬが、殆ど大体の意味に於ては、分るだろ一と思ひます、この意味の分かる子供に對してわ、一つの計略も取れないし、善き方に意味を仕向る事もできないで、誠に困るのであります、大きな子供に對してわ、必ず道徳上に影響するのわ、勿論或る意味に於ては、生理上の方面にも、よ程關係する事は勿論、特に女子のためにわ、私は尙ほ一

層と感じてゐるのであります、この事に就きましてわ、私が嘗て多數なる婦女子の、かるた會に行きました時、御互に辻裏のはいつてゐる、恥かしを食べた時、其の辻裏に就て妙な事を、觀察した事がありません、この事は只今お話し申す限りでないから止めておきます。

とにかく、こんなつまらぬおかしわ、いかに子供が好んでも、興えもせず、又子供自身にも、買わせぬ様にするがよいのです、又其の家族の人等も、大人と雖も、買つて來たり、慰み半分に分だりしてわなりません、又他人から、お土産としてかゝるおかし等貰つた時わ、子供に見せぬがよい又其れを子供が知つて居る場合にわ、他の菓子等と取りかへて、興えるがよいと思ひます、他所の子供に土産として、お菓子等を送る時分にも、其

の考がなければなりません、凡て初が大切でありますから、幼児の時から、決してかゝるかし類を買つてもたべてもいかなないとゆゑ一感念を興えて習慣的にしてかくのがよいと思ひます。

然しながら、又此の辻裏をうまく、有利に教育上に應用したならば、所謂自然的の教育で、大なる功を子供に興える事ができると思ひます、故に強ち、私は、辻裏の菓子を頭から駄目だとわ申しません、これを教育上に應用しまするにわ、つまり辻裏の文句等を改良する事であります、大人にわ、大人相當な、子供にわ子供相當な、婦女にわ夫れ相當な者を撰で、或は教養上、或は商業上、或は農工業上、歸する所わ等しく教育の上根拠を以て、大なる目的を以て、教育上に多大の利を興える様にしたいのであります、實に自

然教育の結果とゆ一者わ、恐ろしい者でありま
す。

それならば、如何な風に改良したらよいかと申
しますると、夫れは色々澤山ありまして、一々舉
げましたら、限りもない事でありますから、只一
つ二つ其の例を申しあげて見ましよう。油斷大敵
兎も龜にまける、難儀の事に勝つ人となれ、はと
でさえ親の恩わ忘れぬ、先に御かんとする人は先
づからだを動かさせ、等の如き事で、もつと適切な
例がありましよ一けれ共、先づ斯様にしたらよか
る一と思ひます、又言葉と一の間の如き所に、
畫等入れたり、又畫許りでもよいと思ひます、然
してそれを判断せしめるのわ、尤も能き事と信ず
る者であります。

然るに、この改良の事に就きましてわ、家庭や

私共が、如何にやかましくゆいしました所が、仕
方がないのでありますから、我れ一の取る所わ
只斯る者を買ひもせず、與えもせぬとゆ一事が、
一番よいのであります、この改良の點に向つてわ
世の幾多の製造人に望むより外わないのでありま
す、私わ特に製造人に向つて、この改良の事をか
んがみられて、一日も早く、その實行をとげられ
ん事を希望する者であります、然るに多くの商人
中、いか程此の如き教育的の考を以ておる者が
ありましよ一か、甚だ遺憾な事でありますけれ共
今日の場合止むを得ませぬから、我れ一諸君は
大なる考を以て、社會改良の一員として、自ら任
じて、これら製造人に向つて、改良の事をすゝめ
もし、説明もして、彼等によくその利を呑みこま
せて、我れ一皆様の希望の達する様にすものも

我れくの務めでわあるまいかと思ひます、今后大にかゝる方面に向つて、お互に盡力致したいと思ひます。

家庭に於ける所感

(承前)

長野市 飯塚忠次郎

(土)小兒と日記

日記とはよんで字の如く其日そのひの事柄を思ひのまゝにかくので御座いまして、即ち、そのひのうちにあつたをや、したこと、なぞをつくらずかざらずかきつくるのでありますけれど、然し完全したところの日記を未だたえれなき無經驗の小兒たちに、私等が要求することはあまりにむりであるかもしれませんが、私はあながち始終一讀瞭然たる完全な日記を小供にかゝせると申すのではありません、たいせめてはまがりなりに不完全

ながらも日記をかくことを教へていたゞきたいのであります、作文の練習になることは勿論、後になつてみると大に参考にもなつてよかるうかと存じますから、大に御獎勵あらんことをのぞむのであります、さて、其教へかたには色々よい方法が御座いまいしうが、先づ簡単に説明申そうならば、先づ第一に年月と天候とをかゝせることで、一寸申せば今日は何年の何月何日であつて何曜日であつた、雪がふつたとか、雨だとか、または、風だとか、晴だとかといふようなことをかゝせるので、そのようなことがすらすらとかけ得る様になつたならば、第二にうつるのです、今日はどうしてあそんだとか、先生にほめられたとかと、自分の行爲をかゝせるのです、それもわけなくかけるようになつたならば、第三にうつるのです、他